

科目3

子どもの発達

講師紹介

- 猿渡知子
- 柏市こども発達センター

はじめに

はじめに

- 子育て支援員研修における本科目の位置づけ
子育て支援員が援助を行う対象である子どもを
発達という観点から理解するための科目

- 本講義の目的
 1. 子どもの発達を捉える観点について理解する
 2. 子どもの発達の概要について理解する
 3. 生涯発達の概要について理解する
 4. 子どもの発達に応じた援助の基礎について理解する
 5. 「遊び」の意義と「遊び」の質について理解する

本
科
目
で
網
羅
す
る
シ
ラ
バ
ス
の
内
容

○本講義の内容

1. 発達への理解

2. 胎児期から青年期までの発達

3. 発達への援助

4. 子どもの遊び

1. 発達への理解

- (1) 子どもの発達を理解することの意義
- (2) 子どもの発達と環境
- (3) 発達の側面と個人差

2. 胎児期から青年期までの発達

- (1) 生涯発達とは
- (2) 胎児期から青年期までの発達

3. 発達への援助

- (1) 基本的生活習慣の獲得と発達援助
- (2) 発達の課題に応じた援助や関わり

4. 子どもの遊び

- (1) 子どもの生活と遊び
- (2) 子どもの遊びと学び

まとめ

1. 発達への理解

1. 発達への理解

(1) 子どもの発達を理解することの意義

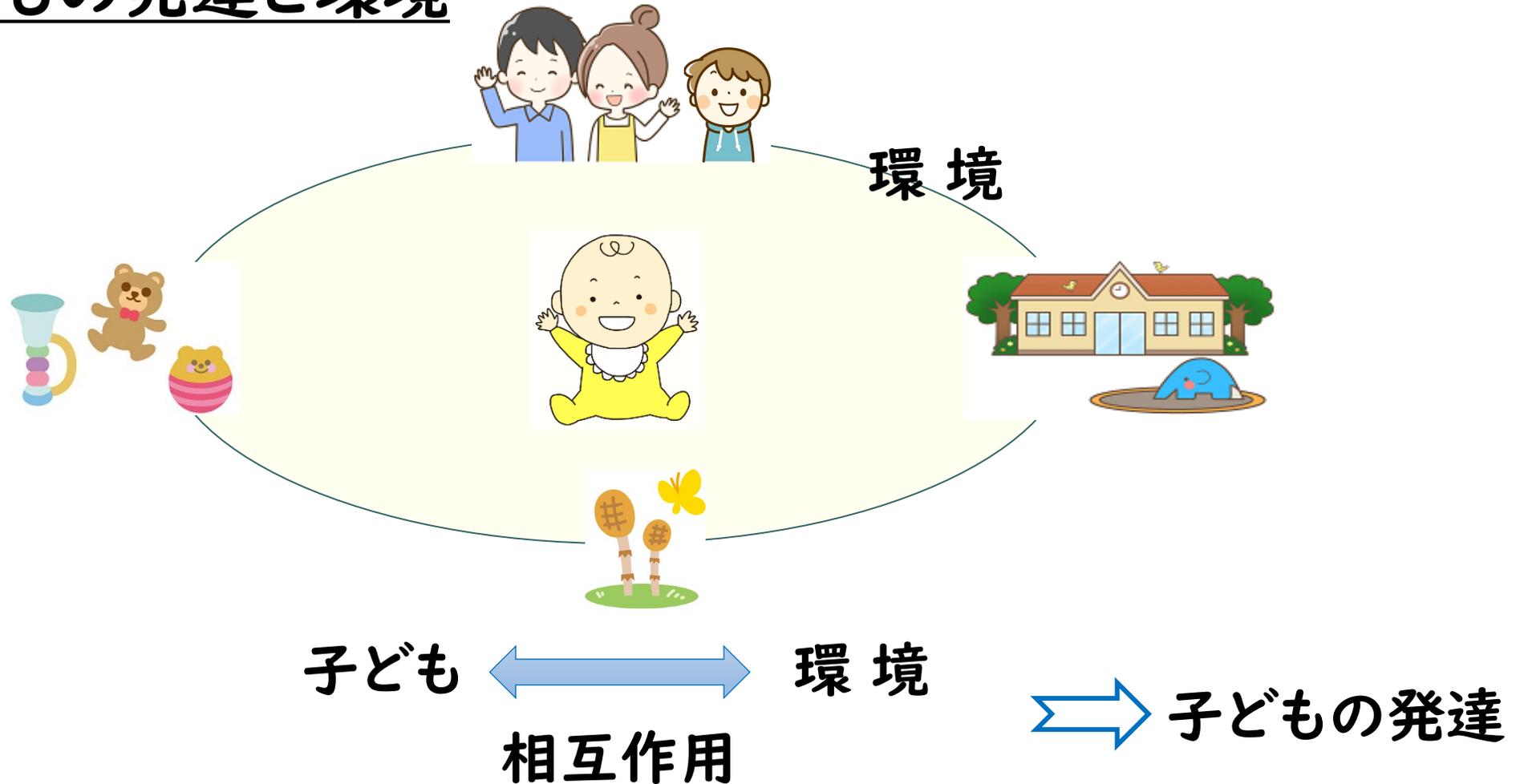
子どもの発達を理解していると

- ☆ 子どもの姿の発達的な背景がわかり、子どもの行動の意味を理解して対応する
- ☆ 子どものこれからの育ちを予測し、見通しをもって支援する
- ☆ 保護者に子どもの行動の意味を伝えたり対応の助言をする

ことができる

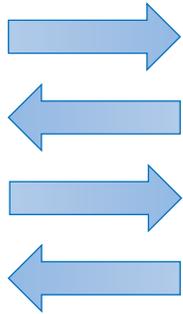
1. 発達への理解

(2) 子どもの発達と環境



1. 発達への理解

(2) 子どもの発達と環境



1. 発達への理解

(2) 子どもの発達と環境

子どもの豊かな発達のために

子どもが自分から関わりたいと思うような環境を整える

☆ 子どもの興味をひく環境

おもしろそう

ワクワク

☆ 子どもが関わってきたときにタイムリーに豊かに
応じてくれる環境 → 応答性

1. 発達への理解

(3) 発達の側面と個人差

☆発達にはいろいろな**側面**がある

- ・それぞれの側面が必ずしも同じペースで発達するわけではない
- ・それぞれの側面が互いに影響し合いながら発達する

☆発達には**個人差**がある

発達の目安を知り、見通しをもちつつ、その子どもなりの発達のペースを大切にする

本項目のまとめ

1. 発達への理解

- (1) 子どもの発達を理解することの意義
- (2) 子どもの発達と環境
- (3) 発達の側面と個人差

参考資料

公益財団法人児童育成協会（監），杉村伸一郎・山名裕子（編）．新・基本保育シリーズ8 保育の心理学．中央法規，2019年．

塩谷香（監），大竹節子（著）．0～5歳児の発達と保育と環境がわかる本．ひかりのくに，2012年．

科目3

子どもの発達

もくじ

1. 発達への理解
 - (1) 子どもの発達を理解することの意義
 - (2) 子どもの発達と環境
 - (3) 発達の側面と個人差
 2. 胎児期から青年期までの発達
 - (1) 生涯発達とは
 - (2) 胎児期から青年期までの発達
 3. 発達への援助
 - (1) 基本的生活習慣の獲得と発達援助
 - (2) 発達の課題に応じた援助や関わり
 4. 子どもの遊び
 - (1) 子どもの生活と遊び
 - (2) 子どもの遊びと学び
- まとめ

2. 胎児期から青年期までの発達

2. 胎児期から青年期までの発達

(1) 生涯発達とは



☆人は死ぬまで発達し続ける存在である

生涯発達

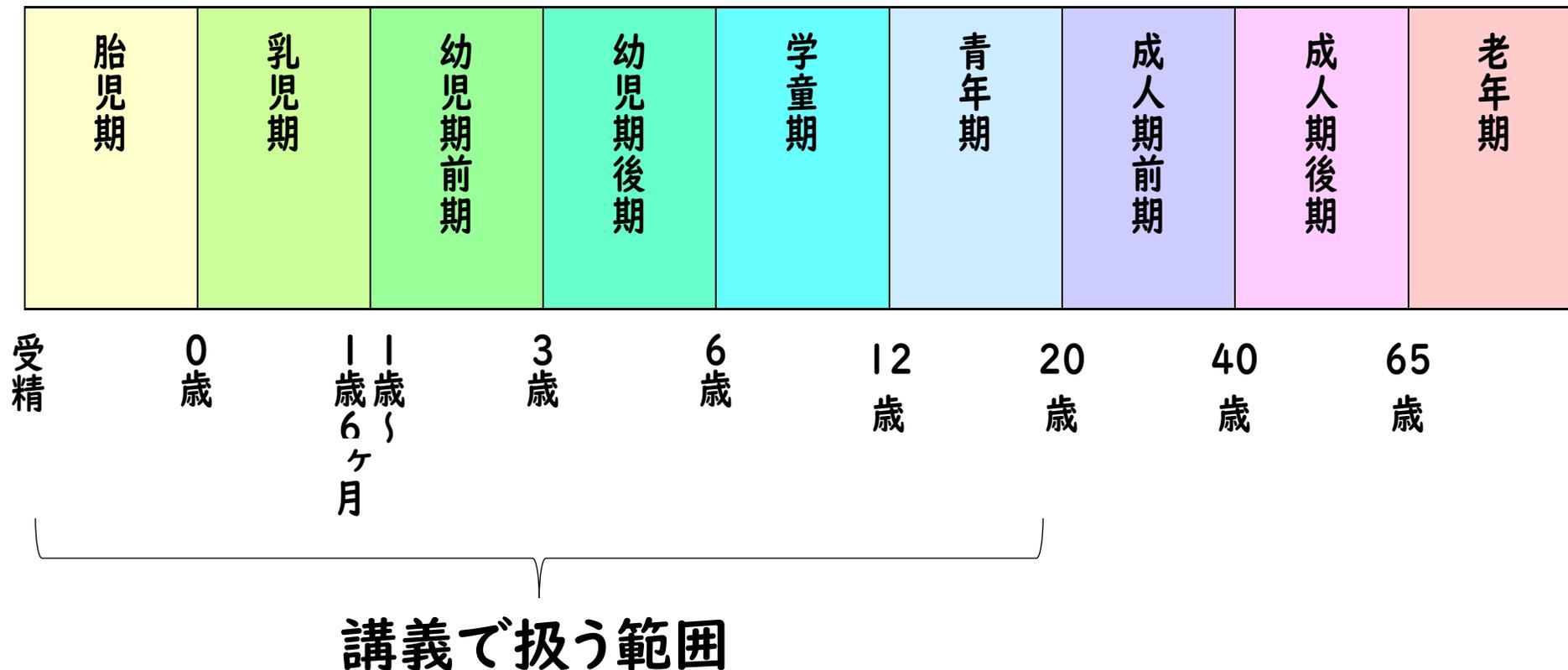
☆発達には

量的な変化（身長が伸びる、体重が増える など）と

質的な変化（人の気持ちをわかるようになる など）がある。

2. 胎児期から青年期までの発達

(1) 生涯発達とは



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

胎児期 - 乳児期 - 幼児期前期 - 幼児期後期 - 学童期 - 青年期

① 胎児期 受精から出生までの時期

妊娠週数	身長	体重	胎児の様子
8~11週	8~9cm	20~30g	内臓が形成される
12~15週	15cm	120g	胎盤が完成する
16~19週	25cm	300g	動きが活発になる
20~23週	30cm	650g	聴覚が発達し始める
24~27週	35cm	1000g	明暗、温度、味覚を感じ始める
28~31週	40cm	1500g	外界の音に反応する
32~35週	45cm	2500g	肺機能が完成する
36~40週	50cm	3000g	内臓や神経の機能が十分に発達する

2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

胎児期 - 乳児期 - 幼児期前期 - 幼児期後期 - 学童期 - 青年期

②乳児期 誕生から1歳 または 1歳6ヶ月ごろまで

運動の発達

- 方向性（上→下、中心→末端）と順序性がある
- 全身運動：首がすわる（4ヶ月ごろ）
支えなしでお座りする（7ヶ月ごろ）
ハイハイ（8ヶ月ごろ）
つかまり立ち（9ヶ月ごろ）
つかまらずに立つ（1歳ごろ）



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

②乳児期

運動の発達 (つづき)

- 微細運動: 手を伸ばして物をつかむ (5ヶ月ごろ)
- 親指とほかの指でつまむ (8ヶ月ごろ)
- 指先でつまむ (11ヶ月ごろ)
- クレヨンでなぐりがきする (1歳すぎ)
- 積み木を積む (1歳すぎ)



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

② 乳児期

対人関係の発達

- アタッチメント（特定の人と心が結びついている感覚）の形成



← 世話する、あやす

この人は特別な存在だ! →



アタッチメントが築かれてくると…（6ヶ月ごろ～）

後追い：アタッチメントの対象が自分から離れると不安になる

人見知り：アタッチメントの対象でない人に不安になる

2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

②乳児期

コミュニケーションの発達

- コミュニケーションの方法
泣く、表情、仕草、発声
- 共同注意(9ヶ月ごろ)
相手の視線や指さしの先にあるものに注意を向けること
- 言語理解
言葉を聞いてわかる力は、言葉を話す力の育ちよりも早い



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

胎児期 - 乳児期 - **幼児期前期** - 幼児期後期 - 学童期 - 青年期

③ 幼児期前期 1～3歳ごろまでの時期

運動の発達

➤ 全身運動

12～13ヶ月ごろ：つかまらずに2, 3歩歩く

3歳までに基本的な動きができるようになる

➡ 走る、飛び降りる、ジャンプする、蹴る、しゃがむ など

動き方にぎこちなさや無駄が多い

2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

③ 幼児期前期

運動の発達 (つづき)

➤ 微細運動

指どうしや、指と手や手首を同時にコントロールするようになる

➡ ねじる、ちぎる、むく、丸をかく

スプーンを上手に使う

大きなボタンを留める

ハサミを使う



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

③ 幼児期前期

対人関係の発達

- 自己主張が強く現れる（イヤイヤ期、第一次反抗期）
 - ➡ 自立に向かおうとする育ちの表れ
- 子どもどうしの関わり合いが増える
 - ➡ いざこざを通した育ち… 他者理解
情動のコントロール



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

③ 幼児期前期

コミュニケーションの発達

➤ 発語の発達

1歳ごろ

意味のある言葉を使う

1歳半～2歳ごろ

急激に言葉が増えることが多い

2歳ごろ

二語文を話す

ママ

ワンワン

ブーブきた

➤ 言語理解の発達

3歳ごろ

簡単な概念を表す言葉がわかる(大小、色など)

今ここにはない状況を言葉で聞いてイメージできる

2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

胎児期 - 乳児期 - 幼児期前期 - **幼児期後期** - 学童期 - 青年期

④ 幼児期後期 3～6歳ごろまでの時期

運動の発達

➤ 全身運動

全身のバランスがとれて動きがスムーズになる
体のいくつかの部分を協力させて動かせるようになる
固定遊具を使って活発に遊ぶ

➡ スキップ、でんぐり返し、なわとび、すべり台 など

2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

④ 幼児期後期

運動の発達 (つづき)

➤ 微細運動

右手と左手で役割分担をして作業するようになる

➤ ハサミで形を切り抜く、ボタンをとめる・外す

クレヨンや鉛筆を親指、人さし指、中指でつまんで持つようになる

➤ かく動きのコントロールが上手になる

おはしを使えるようになってくる



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

④ 幼児期後期

対人関係の発達

➤ 大人との関係

言葉でのやりとりが上手になっていく

➤ 子どもとの関係

相手には相手の気持ちがあることがわかってくる

関わりのルールや、「がまん」も必要なことがわかってくる

目的やイメージを共有して遊ぶようになる

➡ ごっこ遊びがさかんになる



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

④ 幼児期後期

コミュニケーションの発達

- 伝えるための言葉の発達
 - 自分の気持ち、興味、経験を言葉で伝えようとする
- 考えるための言葉の発達
 - 言葉を使って考えて理解や判断をするようになる
 - ひとりごとが増える子どもも多い
- 文字の理解
 - 文字に興味をもち、読み書きをするようになる子どもが増える

2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

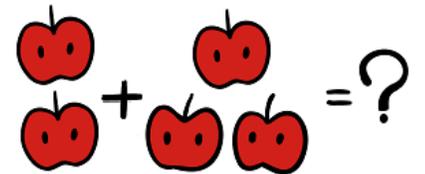
胎児期 - 乳児期 - 幼児期前期 - 幼児期後期 - **学童期** - 青年期

⑤学童期 6～12歳ごろまでの時期

認知発達 (外からのいろいろな情報を取り入れて理解するはたらき)

➤ 小学校低学年のころ

日常生活の経験や、具体的な物については、思い浮かべて頭の中で操作して考えられる



➤ 小学校の中ごろ～

日常生活や具体的な物を離れたこと(抽象的なこと)についても考える力が育っていく ➡ 個人差が大きい

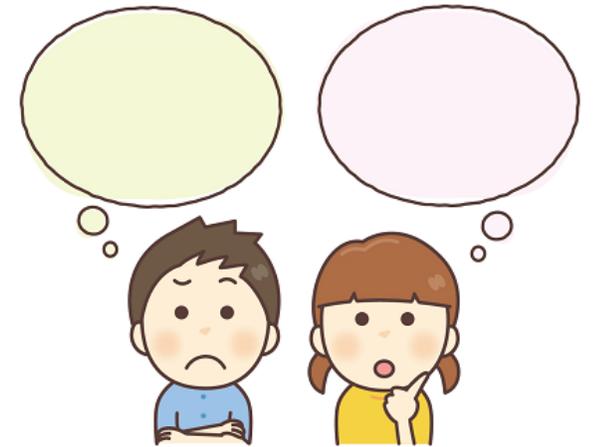
2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

⑤学童期

自己理解の発達

- 自分や人を客観的にみるようになる
 - 自分の行動や考えが人からどうみられるかを意識する
 - 人の行動や考えの理由を、その人の立場に立って考える
- 自分を人と比較してとらえるようになる
 - 「人よりできない」ことが気になる／学習面のハードルが上がる
 - ➡ 自己評価が下がりやすい時期



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

⑤ 学童期

対人関係の発達



➤ **ギャンググループ**（学童期後半）

同性・同年代・同じ行動をして一体感をもつ仲間集団

大人から独立した感覚をもち、自立の練習をする場

➤ **チャムグループ**（学童期の終わりごろ～青年期前半）

同性・同年代・内面が似ていることで一体感をもつ仲間集団

2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

⑤学童期

ものごとのとらえ方の発達

抽象的なことを考える力が育ってくる
人との比較で自分を見るようになる



個人差が大きい

子どもなりの気持ち
や考え方が大事



学習でつまづく子どもが増える
劣等感をもちやすくなる

9歳(10歳)の壁

2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

胎児期 - 乳児期 - 幼児期前期 - 幼児期後期 - 学童期 - **青年期**

⑥ 青年期 12～20歳ごろまでの時期

認知発達

- 抽象的なことを理解し考える力が伸びる
- 学習の内容が高度になる
- 子どもの中で学力の差が広がる
- 教科による得意不得意がはっきりしてくる



2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

⑥ 青年期

自己理解の発達

- 青年期前半：「自分探し」の戸惑い・混乱
自分にはいろいろな側面がある！ ⇒ 自分とは何か？
心と体の急激な変化、自立したいのに依存しているジレンマ
- 青年期後半：アイデンティティの確立
自分から見て「自分」が一貫している感覚をもてる
自分がとらえている「自分」を、周りも認めてくれる

2. 胎児期から青年期までの発達

(2) 胎児期から青年期までの発達

⑥ 青年期

対人関係の発達

- チームグループ（学童期の終わりごろ～青年期前半）
「同じ」であることを確認し合う仲間集団
 - ➡ 楽しい／アイデンティティが不安定な時期に支え合う
- ピアグループ（青年期後半～）
違いを互いに認め合う仲間関係



2. 胎児期から青年期までの発達

(1) 生涯発達とは

(2) 胎児期から青年期までの発達

- ①胎児期
- ②乳児期
- ③幼児期前期
- ④幼児期後期
- ⑤学童期
- ⑥青年期

参考資料

開一夫・齋藤慈子（編）．ベーシック発達心理学．東京大学出版会，2018年．

西村純一・平野真理（編）．生涯発達心理学．ナカニシヤ出版，2019年．

子どもの徳育に関する懇談会「審議の概要」．“3. 子どもの発達段階ごとの特徴と重視すべき課題”．文部科学省HP．

https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shoutou/053/gaiyou/attach/1283165.htm(参照2021-11-19)

科目3

子どもの発達

もくじ

1. 発達への理解
 - (1) 子どもの発達を理解することの意義
 - (2) 子どもの発達と環境
 - (3) 発達の側面と個人差
 2. 胎児期から青年期までの発達
 - (1) 生涯発達とは
 - (2) 胎児期から青年期までの発達
 3. 発達への援助
 - (1) 基本的生活習慣の獲得と発達援助
 - (2) 発達の課題に応じた援助や関わり
 4. 子どもの遊び
 - (1) 子どもの生活と遊び
 - (2) 子どもの遊びと学び
- まとめ

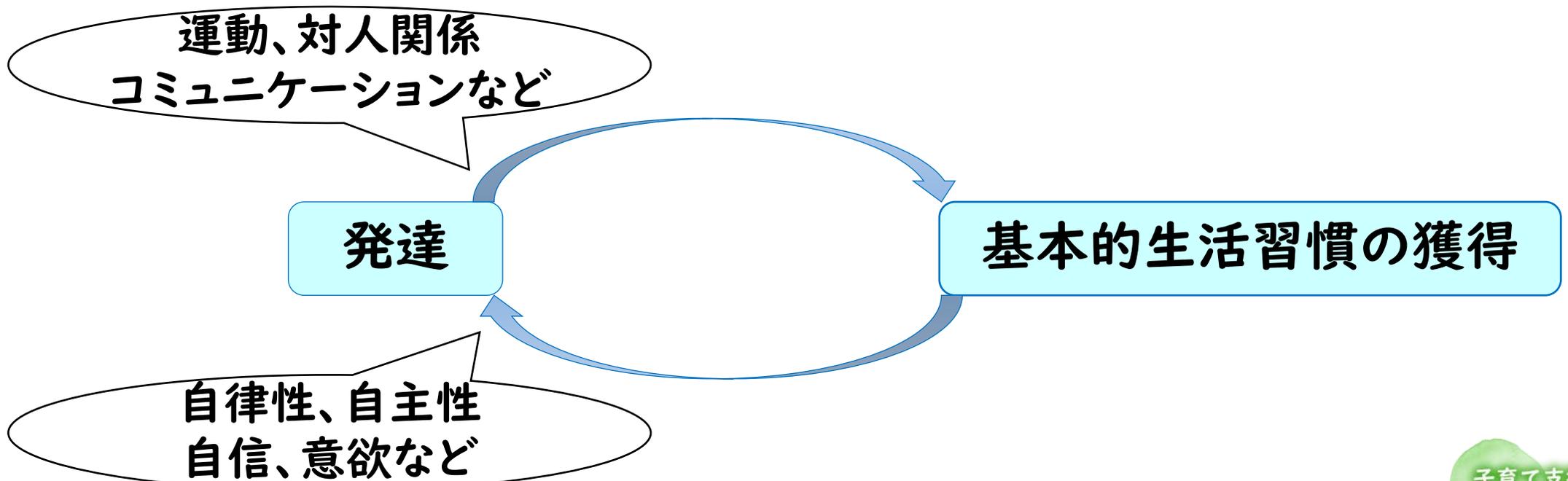
3. 発達への援助

3. 発達への援助

(1) 基本的な生活習慣の獲得と発達援助

① 基本的な生活習慣と発達との関連

基本的な生活習慣：睡眠、食事、排泄、着脱衣、清潔保持



3. 発達への援助

(1) 基本的な生活習慣の獲得と発達援助

② 基本的な生活習慣と環境

基本的な生活習慣の獲得に大切な配慮・関わり

☆「そろそろできそう」のタイミングをとらせる

今ちょうど到達しているレベルの能力を使うことは楽しい

☆子どもの関心や意欲を引き出す

周りの大人や子どもが手本になる、楽しい雰囲気が大事

☆子どもが達成感や肯定感をもてるようにする

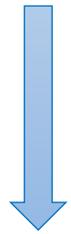
「できた」で終われる工夫、やってみたこと自体を肯定する



3. 発達への援助

(2) 発達の課題に応じた援助や関わり

発達の課題のある子ども：



障害や慢性疾患のある子ども

診断はないが保育のなかで特別な配慮を要する子ども

- 子どもが発達してきた過程や心身の状態を把握する
- 保育所の生活の中で考えられる育ちや困難の状態を理解する
- 他の子どもとの生活を通して共に成長できるようにする
- 家庭や関係機関と連携する

(保育所保育指針解説 第1章 3(2)キを参照)

3. 発達への援助

(1) 基本的な生活習慣の獲得と発達援助

- ① 基本的な生活習慣と発達との関連
- ② 基本的な生活習慣と環境

(2) 発達の課題に応じた援助や関わり

参考資料

玉井美知子. 育ち合いー基本的生活習慣の自立をめざしてー. 研究紀要第37号, 特集:乳幼児期の探求Ⅱ, 2008年3月. 日本教材文化研究財団HP.
http://www.jfecr.or.jp/publication/pub-data/kiyou/h20_37/t1-1.html
(参照2021-11-19)

厚生労働省(編). 保育所保育指針解説. フレーベル館, 2018年.

市川奈緒子. 気になる子の本当の発達支援. 風鳴舎, 2016年.

科目3

子どもの発達

もくじ

1. 発達への理解
 - (1) 子どもの発達を理解することの意義
 - (2) 子どもの発達と環境
 - (3) 発達の側面と個人差
 2. 胎児期から青年期までの発達
 - (1) 生涯発達とは
 - (2) 胎児期から青年期までの発達
 3. 発達への援助
 - (1) 基本的生活習慣の獲得と発達援助
 - (2) 発達の課題に応じた援助や関わり
 4. 子どもの遊び
 - (1) 子どもの生活と遊び
 - (2) 子どもの遊びと学び
- まとめ

4. 子どもの遊び

4. 子どもの遊び

(1) 子どもの生活と遊び

保育所保育指針解説 第1章 1(3)オ

「子どもの発達には、様々な生活や遊びの経験が相互に関連し合い、積み重ねられていくことにより促される」



生活や遊びの経験が子どもにとって豊かであることが必要



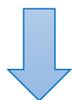
☆生活習慣と遊びが自然なつながりをもって展開されること

☆子どもの発達に合った生活や遊びの環境を用意すること

4. 子どもの遊び

(2) 子どもの遊びと学び

- ☆運動遊び： 身体感覚や運動機能が発達する
- ☆物を扱う遊び： 道具を使う能力が発達する
- ☆イメージによる遊び： 想像力、創造性、表現力が育つ
- ☆他児との遊び： 仲間意識や対人関係についての理解・スキルにつながる
- ☆ルールのある遊び： 客観的な考え方、情動のコントロール、社会性の発達につながる



生涯にわたる生きる力の基礎を培う

人や物に関心をもち、直接に関わり合って楽しむ体験の重要性

4. 子どもの遊び

(1) 子どもの生活と遊び

(2) 子どもの遊びと学び

参考資料

厚生労働省(編). 保育所保育指針解説. フレーベル館, 2018年.

発達150:子どもをはぐくむ主体的な遊び. ミネルヴァ書房, 2017年.

文部科学省 報道発表. 令和2年度青少年の体験活動に関する調査研究結果報告 ~21世紀出生児縦断調査を活用した体験活動の効果等分析結果について~. 2021年9月. 文部科学省HP.
(参照2021-12-15)

科目3

子どもの発達

もくじ

1. 発達への理解
 - (1) 子どもの発達を理解することの意義
 - (2) 子どもの発達と環境
 - (3) 発達の側面と個人差
2. 胎児期から青年期までの発達
 - (1) 生涯発達とは
 - (2) 胎児期から青年期までの発達
3. 発達への援助
 - (1) 基本的生活習慣の獲得と発達援助
 - (2) 発達の課題に応じた援助や関わり
4. 子どもの遊び
 - (1) 子どもの生活と遊び
 - (2) 子どもの遊びと学び

まとめ

まとめ

まとめ

1. 発達への理解

子どもの発達を捉える観点

2. 胎児期から青年期までの発達

生涯発達の視点

子どもの発達の概要

3. 発達への援助

子どもの発達に応じた援助の基礎

4. 子どもの遊び

発達にとっての遊びの意義